

君たちを世界の第一線に 飛躍させる大学院大学

一目でわかるJAISTの魅力

JAIST

知識社会のパイオニアを養成する

知識科学研究科

安全・安心な電子社会の基礎を築く

情報科学研究科

物理・化学・バイオを融合する科学の創生とその応用展開に挑む

マテリアルサイエンス研究科



広く各方面で活躍する先輩

博士前期課程修了者



- ① 現在の職場での担当業務を一言で言うと？
- ② JAISTでの経験で役立っていることは？



(株)富士通研究所 ヒューマンソリューション研究部
駒場 祐介 知識科学研究科 (平成15年3月修了)

- ①現在は大学と共同でヘルスケア関連の研究開発を行っており、主にデータ分析を担当しています。
- ②異なる業務でも興味を持って主体的に取り組む姿勢の獲得。



パナソニックアドバンステクノロジー(株) 名古屋研究所
磯貝 典仙 情報科学研究科 (平成15年3月修了)

- ①組み込み機器内の安全性・著作権を保障するためのソフトウェア・ハードウェア開発を担当しています。
- ②目標設定とその実現を目指す力を養えたこと。



TOA (CHINA) LIMITED エンジニアリング部
平松 壮太 情報科学研究科 (平成20年3月修了)

- ①中国版社の社員とともにシステム設計・物件管理・アフターケアなどの仕組み強化を図っております。
- ②知らない分野を探索し把握し説明してきたこと。



京セラミタ(株) 技術本部プリンター統括技術部
菊地 英之介 マテリアルサイエンス研究科 (平成20年3月修了)

- ①カラー・モノクロプリンターの転写プロセス開発・設計。
- ②研究を通じてエンジニアとしてのベースを学べたこと。



(株)日立製作所 横浜研究所 映像情報研究センタ
松原 孝志 知識科学研究科 (平成14年3月修了)

- ①物に触れずに操作できるジェスチャリなどの新しいユーザーインタフェースの研究開発。
- ②社会科学や認知科学の視点を養えたこと。



(株)日本能率協会コンサルティング RD&E本部
大崎 真奈美 知識科学研究科 (平成17年3月修了)

- ①研究開発現場活性化のコンサルティング支援。商品企画、職場風土革新、研究所の革新戦略構想&実践など。
- ②研究で実施した石川県の企業の技術者へのインタビュー。



(株)OKIソフトウェア 情報ソリューション事業部
長嶋 淳 情報科学研究科 (平成19年3月修了)

- ①交通管制に関連するシステムの一部になる、部分機能やサブシステムのソフトウェア設計・開発。
- ②問題解決の際の、考え方の基礎が身についたこと。



(株)KELK 素子事業部
田中 哲史 マテリアルサイエンス研究科 (平成14年3月修了)

- ①新規熱電素子の開発と新規市場開拓、既存の熱電素子製作プロセスの維持改善。
- ②自身初、「熱電」を対象に研究したこと「全て」。



(株)アルバック FPD事業部第3技術部
田丸 義久 マテリアルサイエンス研究科 (平成20年3月修了)

- ①大型CVD装置の技術担当をしています。装置開発からお客様の対応等、職務内容は多岐に渡ります。
- ②自身で方針を決め物事を進めるという教育方針。

博士後期課程修了者



- ①現在の所属機関での職務内容を一言で言うと？
- ②JAIST博士後期課程での経験で役立っていることは？



岡山大学大学院 社会文化科学研究科 准教授
犬塚 篤 知識科学研究科 (平成16年3月)

- ①ビジネススクールや学部にて、経営学(企業組織)に関する研究・教育を行っています。
- ②雪が降った後のように、道なき処に道を作る経験。



福山大学 工学部 情報工学科 教授
尾関 孝史 情報科学研究科 (平成9年3月修了)

- ①学科主任として、学科の教育、研究、社会貢献等の取りまとめを行っています。
- ②幅広い分野の友人ができたこと。



ユニデン(株) 技術本部
中田 潤也 情報科学研究科 (平成21年3月修了)

- ①主力のコードレス電話を始めとする機器の開発、製品の信頼性検証環境の研究などを行なっています。
- ②実践を伴った専門的な学習や国際環境での協調作業。



千葉大学大学院融合科学研究科 准教授
青木 伸之 マテリアルサイエンス研究科 (平成10年12月修了)

- ①半導体量子構造やカーボン系ナノスケール材料での電気伝導現象に関する教育研究を行っています。
- ②サブテーマで得られた自分の専門とは異なる知識。



(株)富士通研究所ソフトウェアシステム研究所
小幡 明彦 知識科学研究科 (平成13年9月修了)

- ①複雑な現場状況の分析から新しいICT設計案を創出するための人間中心設計方法論の研究。
- ②社会科学や工学の学際的なアプローチ。



Institute of Evolutionary Biology and Environmental Studies, University of Zurich
島山 剛臣 知識科学研究科 (平成20年3月修了)

- ①植物の進化、特に被子植物の自家受精を防ぐ仕組みに関わる遺伝子の解析を行なっています。
- ②知識についての知識を活用できるようになったこと。



(株)ATR-Promotions 脳活動イメージングセンタ
西本 博則 情報科学研究科 (平成18年3月修了)

- ①MRI・MEG装置を用いた脳研究支援、およびMRI装置による音声研究支援と研究遂行。
- ②問題設定と解決のための能力・思考が養われたこと。



神戸大学大学院工学研究科 准教授
大谷 亨 マテリアルサイエンス研究科 (平成9年9月修了)

- ①応用化学専攻の大学院生、応用化学科の学生の教育研究を行っています。
- ②論文投稿を通じてreviewerとやりとりしたこと。



早稲田大学 先進理工学部 応用物理学科 准教授
竹延 大志 マテリアルサイエンス研究科 (平成13年3月修了)

- ①講義等を通して学生の教育を行いながら炭素材料や有機材料の研究を行っています。
- ②サブテーマ等で学んだ広い視野の重要性。